

日本の「近代」と「戦後民主主義」

講演者とテーマ

—戦後つくられた「福沢諭吉神話」—



名古屋大学名誉教授
安川寿之輔さん

「福沢諭吉神話」
とはなにか



漫画「美味しんぼ」
原作者 雁屋 哲さん

「なぜ、いま福沢諭吉なのか」
「福沢諭吉が我々を
大日本帝国に引き戻す」



帯広畜産大学教授
杉田 聰さん

「福沢諭吉の帝国主義イデ
オロギーと自民党改憲案」

◇ 日 時 12月4日(日)13時30分～16時45分(開場 12時30分)

◇ 会 場 明治大学「アカデミーホール」(1192席) tel 03-3296-4337

◇ 資料代 当日参加1,000円 事前申込800円 学生500円(事前申込は下記にご連絡を)

〈主な著書〉

安川寿之輔『福沢諭吉のアジア認識 日本近代史像をとらえ返す』／『福沢諭吉と丸山眞男「丸山諭吉」神話を解体する』／

『福沢諭吉の教育論と女性論「誤読」による〈福沢神話〉の虚妄を碎く』(いいずれも高文研)

雁屋 哲 『美味しんぼ』(作画:花咲アキラ・小学館)単行本の売上は累計1億3千万冊／『マンガ 日本人と天皇』(いそっぷ社)／『美味しんぼ「鼻血問題」に答える』(遊幻舎)／『まさかの福沢諭吉』上下(作画:シュガー佐藤・遊幻舎)

杉田 聰 『福沢諭吉 朝鮮・中国・台湾論集—「国権拡張」「脱亜」の果て』(明石書店)／『天は人の下に人を造る「福沢諭吉神話」を超えて』(インパクト出版会)／『福沢諭吉と帝国主義イデオロギー』(仮題・花伝社)

*2016年に出版された3人の共編著 『さようなら!福沢諭吉—日本の「近代」と「戦後民主主義」の問い直し』(花伝社)

◆ アクセス

・JR中央線／総武線「御茶ノ水」駅
御茶ノ水橋口 徒歩3分

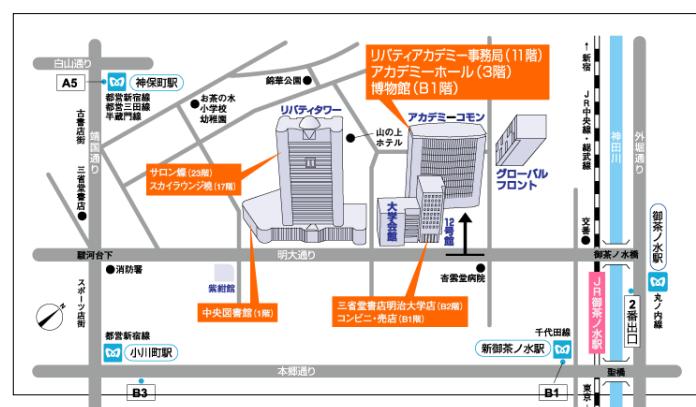
・東京メトロ丸の内線「御茶ノ水」駅
2番出口 徒歩3分

・東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅
B1出口 徒歩5分

・都営地下鉄三田線
東京メトロ半蔵門線「神保町」駅

A5出口 徒歩5分

・都営地下鉄新宿線「小川町」駅
B3出口 徒歩5分



主催／日本の「近代」と「戦後民主主義」を問い合わせる実行委員会

千葉県木更津市八幡台2-5 c-1 「不戦兵士・市民の会」 気付
tel 0438-40-5941 fax 0438-40-5942 fusen@kmj.biglobe.ne.jp

戦後つくられた「福沢諭吉神話」ってなあに？

福沢は人間平等論者のウソ 「天は…人の下に人を造らず」の平等論者と誤解されている福沢諭吉は、日本の民衆一般を「馬鹿と片輪(かたわ)」と蔑視(べっし)しただけでなく、「百姓町人の輩(やから)は…獣類にすれば豚の如きもの」と主張した。その福沢は、アジアへの武力行使と侵略を合理化するために、アジアの未開と野蛮を強調。「ヘイトスピーチの元祖」福沢は、朝鮮が「小野蛮国にして…我属国と為(な)るもこれを悦ぶに足らず」「朝鮮…人民は正しく牛馬豚犬」「チャンチャン…皆殺しにするは造作(ぞうさ)もなきこと」「支那兵…と戦う…じつは豚狩のつもりにて」「無智蒙昧(むちもうまい)の蛮民(ばんみん)」の台湾人は、「殲滅(せんめつ)の外に手段なし」と主張した。また、「天は人の上の人をつくらず」の主張者と誤解されている福沢は、明治日本には「愚民を籠絡(ろうらく)する」詐術(さじゅつ)の天皇制が必要と主張し、日本の兵士に天皇のための戦死を求め、兵士が「以て戦場に斃(たお)るるの幸福なるを感じせしめ」るための、靖国神社の軍国主義的利用も提言した。

平等では、社会はうまく治まらないと主張 「男女の間を同権にする」ことや、貧民が高等教育を学ぶことに積極的に反対した福沢は、そもそも人間を平等にしたら社会がうまく治まらないという哲学まで主張した確信犯的差別主義者でした。

丸山真男が誤読した！「一身独立して一国独立する」 「一身独立して一国独立する」は、丸山によって絶賛されたが、福沢自身は、この定式で「国のために財を失ふのみならず、一命を抛(なげうち)て惜(おし)むに足ら」ない国家主義的な「報国の大義」を主張していた。だからこそ、安倍首相は、〈「強い日本」を創る〉施政方針演説の冒頭に、この定式を引用した。

同時代人たちからは批判されていた 「富国強兵」に反対し「強兵富国」のアジア侵略路線を先導した福沢は、明治の同時代人からは、「我日本帝国ヲシテ強盗国ニ変ゼシメント謀ル」道のりは、「不可救ノ災禍ヲ将来ニ遺サン事必セリ」ときびしく批判されていた。

格差社会の先取りも 「今の社会の組織にては、…貧はますます貧に沈み…貧乏人に開運の日は無かるべし。…富豪の大なるものをして益々大ならしめ」よ、と主張した福沢は、今日の「格差社会」への道を先取りした経済人だ。

植民地獲得は「世界人道のため」？ 「韓国併呑(へいどん)」の可能性を予告し、「満蒙(まんもう)は我が国の生命線」発言の先駆者であった福沢は、中国の半植民地化が進む時代に、帝国主義諸国による植民地獲得は「世界人道の為め」と主張して、日本の膨張主義への道を励ました。

私たち三人は、司馬遼太郎＝丸山真男流の分断史観を克服 日本の近代史を「明るい明治」と「暗い昭和」に分断する司馬遼太郎＝丸山真男流の史観ではなく、私たち三人は日本の近代化の道のり総体の「お師匠様」福沢諭吉のもとで、「明るくない明治」が「暗い昭和」につながった、という道のりを考えています。

◆実行委員(10月20日現在)／実行委員長 高嶋伸欣

飯田美弥子(弁護士・八法亭みややっこ) 池田恵理子(女たちの戦争と平和資料館館長) 伊香俊哉(都留文科大学教員) 石川 求(首都大学東京教員) 岩上安身(Independent Web Journal 代表) 内田雅敏(弁護士・戦争をさせない1000人委員会事務局長) 内海愛子(大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター) 梅田正己(「高文研」前代表) 浦田賢治(早稲田大学名誉教授) 尾形 憲(法政大学名誉教授) 久富善之(一橋大学名誉教授) 黒古一夫(文芸評論家) 黒田貴史(『現代の理論』編集) 小林哲夫(『思想の科学』) 佐藤広美(東京家政学院大学教員) 清水 寛(埼玉大学名誉教授) 島川雅史(立教女学院短大教員) 辛 淑玉(ヘイトスピーチとレイシズム乗り越えネット共同代表) 鈴木望水(「公共空間 XI」同人) 芹澤昇雄(中帰連平和記念館) 高嶋伸欣(琉球大学名誉教授) 高野邦夫(不戦兵士・市民の会副代表理事) 高橋武智(わだつみ会代表) 竹田茂夫(法政大学教員) 田代美江子(埼玉大学教員) 谷口和憲(『戦争と性』編集) 鄭 香均(都政在日差別訴訟原告) 寺尾光身(朝鮮女子勤労挺身隊訴訟を支援する会共同代表) 戸塚省三(遊幻舎) 仲内節子(戦死者のメッセージを広める会事務局長) 中川信明(靖国・天皇制問題情報センター通信) 中野敏男(東京外語大学名誉教授) 成澤宗男(『週刊金曜日』) 橋本 進(ジャーナリスト) 原田章弘(朝鮮人強制連行調査団) 平田 勝(花伝社) 平野英雄(わだつみ会) 深田卓(インパクト出版会) 深津真澄(元朝日新聞論説委員) 前田 朗(東京造形大学教員) 真鍋かおる(高文研) 松村高夫(慶應大学名誉教授) 水澤寿郎(慶應大学卒業生) 森脇靖彦(不戦兵士・市民の会事務局長) 山田 朗(歴史教育者協議会委員長・明治大学教員) 山家悠紀夫(暮らしと経済研究室) 芳永克彦(弁護士) 米田俊彦(お茶の水女子大学教員) 渡辺厚子(「日の丸」起立拒否裁判原告) 李 誠司(実業家) 李 洋秀(日韓会談文書全面公開求める会役員)